

令和7年度 木曽川上流河川事務所 事業概要

長良川

木曽川

揖斐川

1. 木曽三川の概要 p.1

2. 木曽三川の治水の歴史 p.2

3. 近年の主な洪水と浸水想定 p.3

4. 令和7年度の事業方針 p.5

5. 事業費 p.6

6. 流域治水対策 p.7

7. 防災情報の提供 p.8

8. 河川改修事業 p.9

9. 河川管理 p.11

10. 環境整備事業 p.13

11. 防災教育・防災施設等 p.14

12. 国営公園整備事業 p.15

13. 令和7年度の事業位置
(改修・維持・環境・公園) p.17

1. 木曽三川の概要

流域は、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県の5県にまたがり、濃尾平野を抱え、名神自動車道、東海北陸自動車道、東海環状自動車道等の高速道路、東海道新幹線、JR東海道本線等の交通の要衝となっており、流域内人口約190万人に達します。

木曽川水系は、豊富な水量により都市用水、農業用水や水力発電によるエネルギー供給など古くから地域の発展に大きく貢献してきました。さらに、古くから治水に悩まされた輪中地帯が広がる一方で、歴史・文化遺産が多く、また、良好で多様な環境を有し、豊かな生態系を育んでいます。

このように木曽三川の流域は中部圏の社会・経済・文化の基盤を成す地域となっています。

項 目		単 位	木 曽 川	長 良 川	揖 斐 川	
河川の概要	水源地	m	長野県木曽郡木祖村 鉢盛山 標高 2,446	岐阜県郡上市高鷲 大日ヶ岳 標高 1,709	岐阜県揖斐郡揖斐川町藤橋 冠 山 標高 1,257	
	流域面積	km ²	5,275	1,985	1,840	
	幹川流路延長	km	229	166	121	
	想定氾濫面積	km ²	720	330	410	
	大臣管理区間	km	幹 川 73.4	幹 川 56.1	幹 川 63.3	
河川整備計画	目標流量	m ³ /sec	犬 山 16,500	忠 節 8,100	万石4,500	万石5,000
	河道整備流量 (河道整備で対応する流量)	m ³ /sec	犬 山 12,500	忠 節 7,700	万石3,900 (H14出水)	万石3,500 (S50出水)
既往洪水	既往著名洪水流量	m ³ /sec	昭和58年9月29日 (台風10号) 14,100(犬山)	平成16年10月21日 (台風23号) 7,700(忠節)	平成14年7月10日 (台風6号) 4,200(万石)	



2. 木曽三川の治水の歴史

江戸時代までの治水事業

- ・16世紀頃から輪中や敷地を盛土した水屋などの水害対策が行われました。本格的な治水事業として現在に伝えられているものは、豊臣秀吉によって文禄2年(1593)から始められた「文禄の治水」です。
- ・江戸時代初期、木曽川左岸(犬山市から弥富町までの約47km)に「御囲堤」が築堤されました。
- ・宝暦4年(1754)に薩摩藩による御手伝普請によって、逆川洗堰、大樽川洗堰、油島の締切り工事を中心とした「宝暦治水」が行われました。

明治時代の治水事業

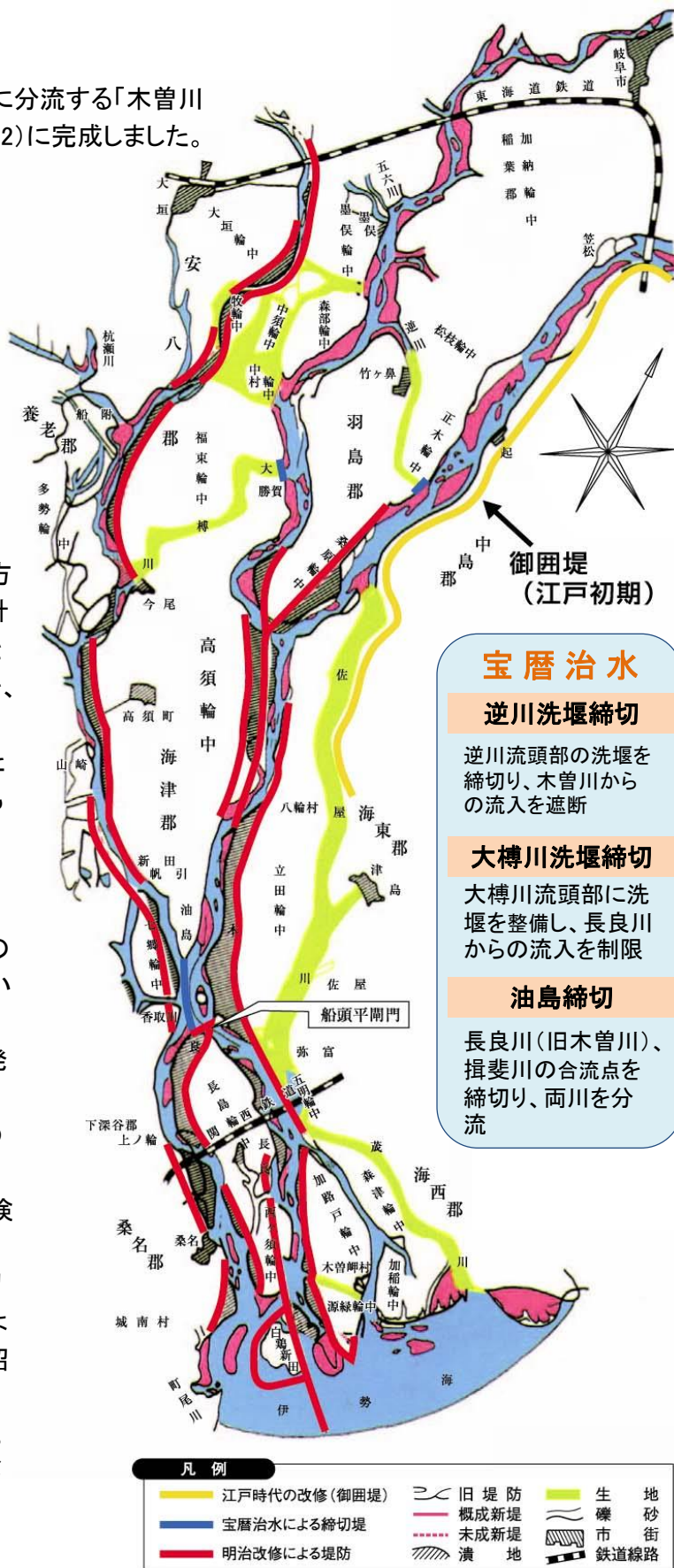
- ・オランダ人技術者ヨハネス・デ・レーケを迎え、三川を完全に分流する「木曽川下流改修計画」を明治20年(1887)に策定し、明治45年(1912)に完成しました。

大正時代～昭和初期の治水事業

- ・大正10年(1921)に木曽川上流改修計画を策定し、木曽川上流部の派川の締切り等によって流路の整正を行う改修工事、長良川の古川、古々川の締切り工事などを行いました。また、計画の流量を見直し、堤防の改築、掘削、浚渫の改修工事を行いました。

戦後～現在の治水事業

- ・戦後では、昭和28年度以降改修総体計画、昭和40年の工事実施基本計画、平成18年の木曽川水系河川整備基本方針など計画の策定、見直しを行ってきています。これらの計画では、木曽川、揖斐川で洪水調節を位置づけ、木曽川と支川では丸山ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダムを、揖斐川では、横山ダム、徳山ダムを整備しています。
- ・木曽川では、美濃加茂市、坂祝町で甚大な被害が発生した昭和58年9月の出水などを踏まえ、昭和61年に渇水対策も含めて治水・利水機能が向上する新丸山ダムの建設に着手しています。また、木曽川右岸で、築堤及び護岸等を新設する事業を平成元年に完了しています。
- ・長良川では、昭和63年に長良川河口堰に着工し、洪水時の水位を下げる河道の浚渫を昭和46年～平成9年に行っています。一方、昭和51年9月洪水により、長良川右岸堤防が決壊し、安八町・大垣市(旧墨俣町)などで甚大な被害が発生し、この災害復旧として、安八町・大垣市一連区間の堤防強化、伊自良川の川幅の拡幅(引堤)、沿川内水地域の排水強化などを行っています。さらに、平成16年10月の台風23号出水では、既往最大流量を記録し、一部区間で危険水位を超えたことから河道掘削を行いました。
- ・揖斐川では昭和50年8月出水で既往最高水位を記録し、昭和51年9月出水と相次ぎ、支川氾濫や大垣市内で内水による被害が発生しています。さらに平成14年7月洪水では、昭和50年出水に迫る水位を記録し、根尾川でも既往最高水位を記録するとともに、大垣市で浸水被害が発生しました。平成20年には徳山ダムが完成し、揖斐川の治水安全度が大きく向上しています。



3. 近年の主な洪水と浸水想定

木曽川

○昭和58年(1983)の台風10号と秋雨前線により、戦後最大規模の洪水が発生し、岐阜県美濃加茂市、坂祝町及び可児市等で4,588戸が浸水するなど甚大な被害が発生しました。



勝山陸閘閉鎖の状況



昭和58年9月洪水(戦後最大規模)
美濃加茂市街の浸水状況

○令和3年(2021)8月の記録的な豪雨により、坂祝町勝山地区において勝山陸閘を、一宮市起地区において起陸閘を閉鎖し、浸水被害に備えました。

長良川

○昭和51年(1976)9月洪水により、約59,500戸が浸水するなど、安八町、大垣市(旧墨俣町)をはじめとする広い地域において甚大な被害が発生しました。

○平成16年(2004)の台風23号により、戦後最大規模の洪水が発生し、床上浸水386戸、床下浸水277戸など大きな被害が発生しました。



水防団による水防活動の実施状況(月の輪工法)



平成16年10月洪水(戦後最大規模)
岐阜市福富地区の浸水状況

○平成30年(2018)7月の台風7号と梅雨前線により、戦後最大の洪水である平成16年洪水以来14年ぶりに長良陸閘・大宮陸閘を閉鎖、また、島田地区・日置江地区においては、水防団が水防活動を実施し、堤防決壊のリスクを低減しました。

※木曽川洪水浸水想定区域図は、水防法第14条に基づき、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域として指定し、浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間等と併せて公表しているものです。

※設定条件等については、以下のウェブページをご覧ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/shinsuisoutei/index.html>

揖斐川

○昭和50年(1975)の台風6号により、戦後最大規模の洪水が発生し、万石地点において、観測史上最高水位が観測されました。

○平成14年(2002)7月の台風6号により、支川で内水氾濫が発生するなど、浸水戸数970戸の大きな被害が発生しました。



揖斐川の出水状況



昭和50年8月洪水(戦後最大規模)
JR新幹線揖斐川橋

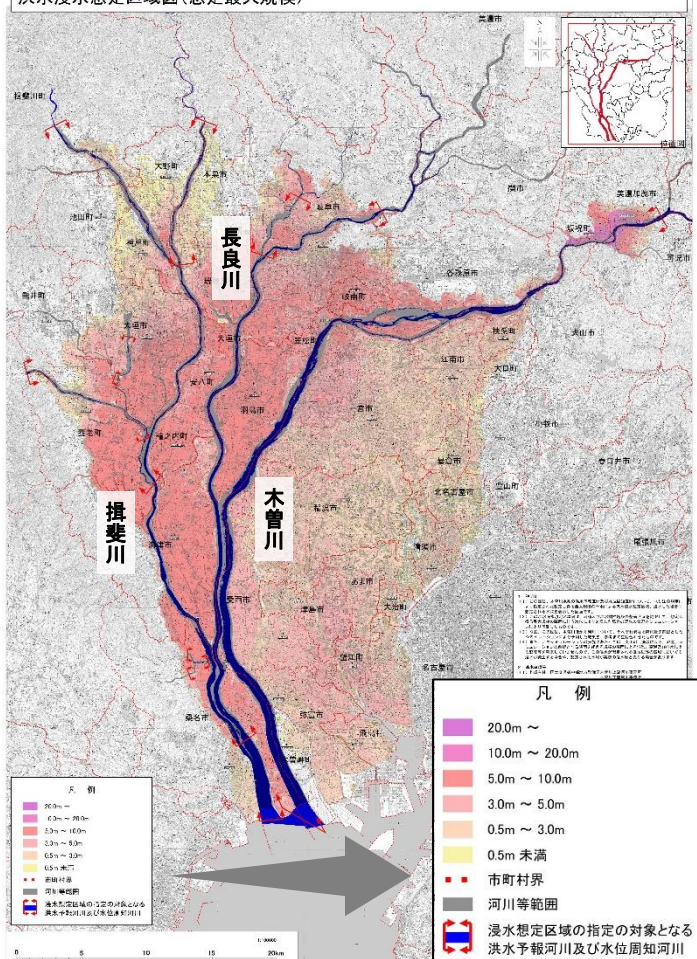
○平成24年(2012)9月の洪水では、牧田川で漏水や河岸の洗堀が発生し、塩田橋地点において氾濫危険水位を超過しました。徳山ダム・横山ダムの連携した洪水調節により河川水位を低下させることで、浸水被害を軽減させることができました。

木曽三川における浸水想定

木曽三川において洪水が発生した場合、以下のような区域で浸水が想定されています。このような氾濫被害を軽減させるため、治水事業を行っています。(※下図は想定し得る最大規模の降雨による浸水)

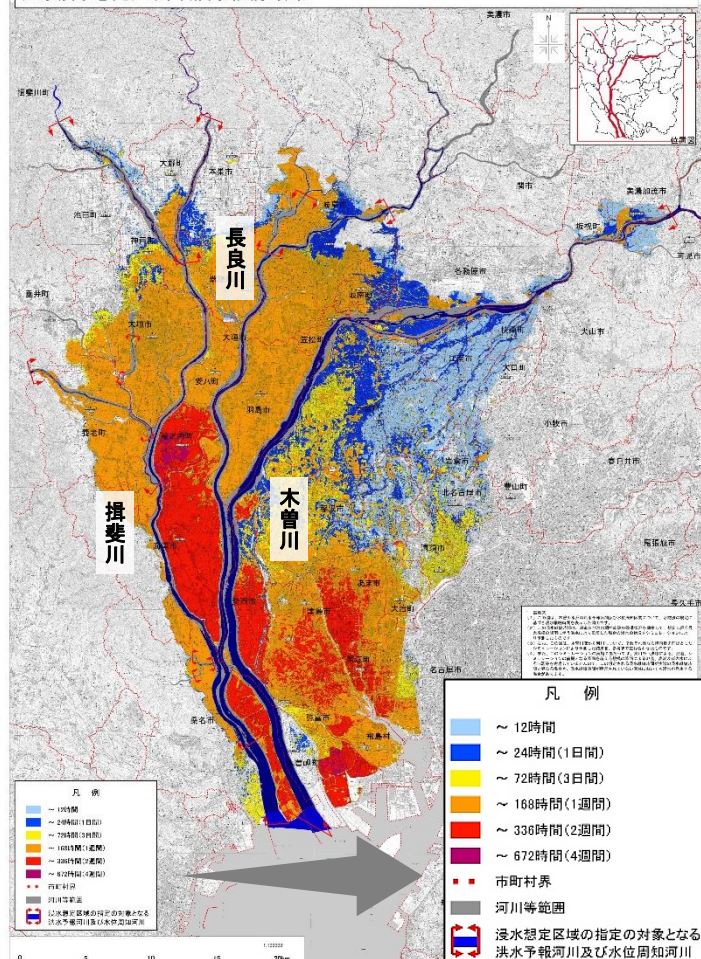
洪水浸水想定区域

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



4. 令和7年度の事業方針

木曽川水系では、気候変動の影響による大規模水害から地域を守るため、流域治水の考えのもと、治水対策及び管理施設の持続的な維持管理を行います。

また、地域と連携し、良好な河川環境と賑わいのある水辺の創出に取り組みます。
これらのことにより、木曽川水系の治水・環境の整備を総合的に実施していきます。

河川改修

【木曽川】

- ・木曽川において、洪水を安全に流下させるために、堤防整備を実施します。

【長良川】

- ・長良川本川において、洪水を安全に流下させるために、長良川遊水地整備を推進します。
- ・また、支川伊自良川において、洪水の流れの阻害となる樹木の伐開を実施します。
- ・犀川では遊水地整備を推進します。

【揖斐川】

- ・揖斐川本川及び支川牧田川において、洪水を安全に流下させるために、河道掘削や堤防整備を実施します。
- ・新水門川では、老朽化した排水機場の改築と合わせ牧田川左岸堤防の整備を行っている木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)を推進します。

【河道の二極化対策】

- ・木曽三川では、砂州とみお筋河床の高低差が拡大する河道の二極化が見受けられ、河川構造物への影響などが懸念されています。河道の二極化を緩和する対策として、砂州上の細粒土砂の掘削や樹木伐開、玉石の補充を実施していきます。

維持修繕

- ・老朽化や現行の構造基準に合わないポンプやゲート等の機能改善を計画的に実施します。
- ・河川管理施設が適切な機能を発揮出来るよう、堤防法面や護岸等を補修、河川内の樹木伐開を実施します。

環境整備

- ・木曽川及び揖斐川において、希少な動植物の生息、生育、繁殖の場となるワンドの保全・創出を実施します。
- ・長良川において、ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画に基づき、水辺拠点の創出を実施します。

木曽三川公園

- ・桜堤サブセンター堤内地エリアの整備に向けて、盛土等を実施します。
- ・ワイルドネイチャープラザにおいて、園路整備を実施します。
- ・河川環境楽園、138タワーパーク、フラワーパーク江南において、既存の管理施設及び構内整備を実施します。

5. 事業費

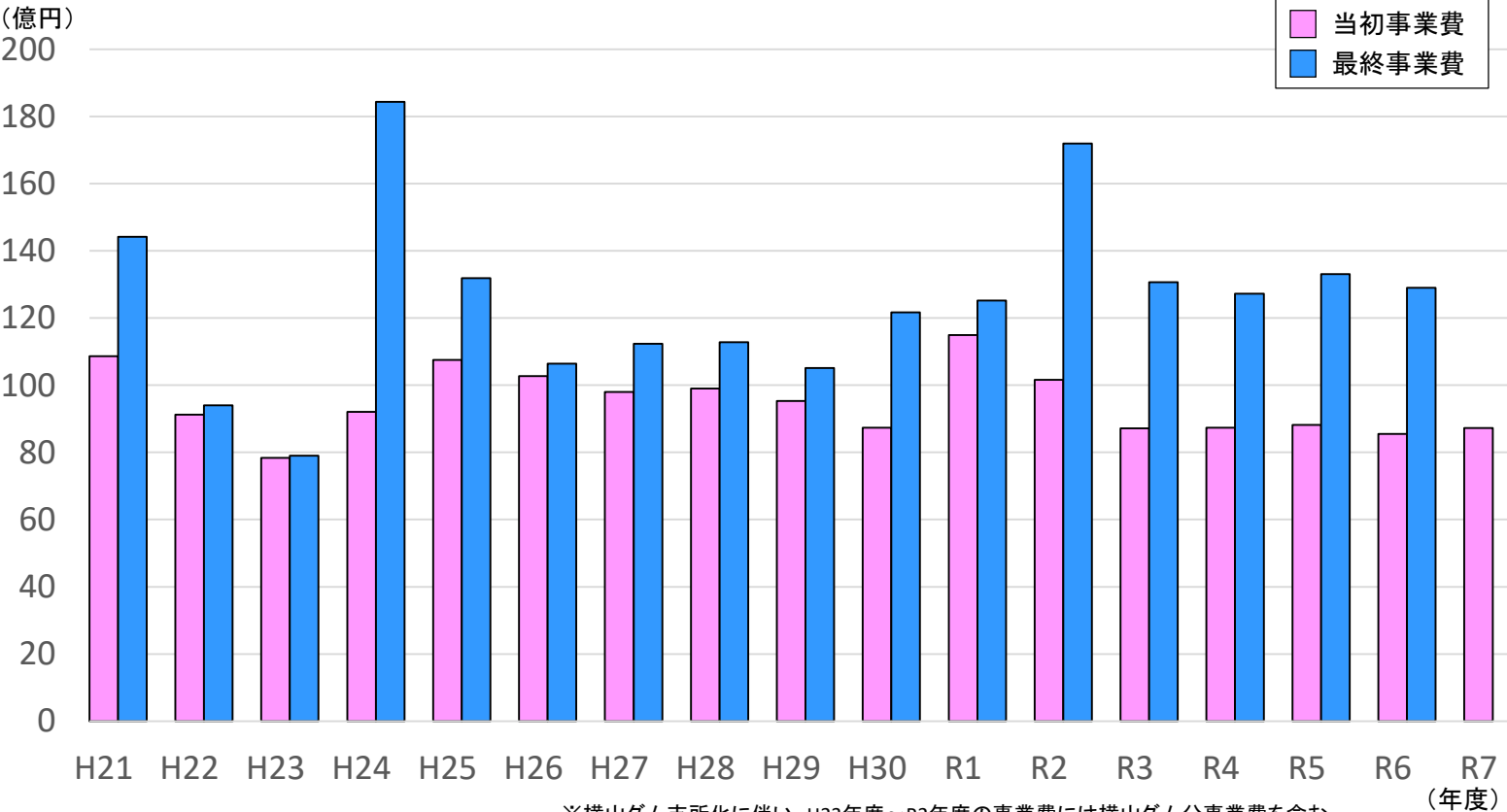
令和7年度事業費一覧(令和7年4月1日現在)

(単位: 千円)

				令和5年度	令和6年度			令和7年度	
				最終	当初	補正等	最終	当初	前年度当初に対する伸率
事業費(一般)				12,901,272	8,547,475	4,205,830	12,753,305	8,713,813	1.02
	河川事業			11,452,016	7,425,761	4,125,830	11,551,591	7,391,453	1.00
	河川整備事業費	改修	河川改修費	6,263,090	3,149,925	2,735,000	5,884,925	3,200,000	1.02
			うち特定構造物改築事業費	1,300,670	1,171,000	750,000	1,921,000	1,029,500	0.88
		維持	河川維持修繕費	4,520,026	3,548,736	1,195,830	4,744,566	3,579,733	1.01
			河川工作物関連応急対策事業費	340,000	440,000	－	440,000	325,000	0.74
	都市水環境整備事業費	環境	総合水系環境整備事業費	328,900	287,100	195,000	482,100	286,720	1.00
	公園事業			1,449,256	1,121,714	80,000	1,201,714	1,322,360	1.18
	国営公園等事業費	整備	国営公園等整備費	268,950	73,975	60,000	133,975	221,925	3.00
		維持	国営公園等維持管理費	1,180,306	1,047,739	20,000	1,067,739	1,100,435	1.05
事業費(その他)				403,500	0	149,014	149,014	12,557	－
	事業推進関係		防災・減災対策等強化事業推進費	403,500	－	60,000	60,000	－	－
	災害関係		河川等災害復旧事業費	0	－	89,014	89,014	12,557	－
事業費計				13,304,772	8,547,475	4,354,844	12,902,319	8,726,370	1.02

※事業費は業務取扱費を除く
※国営公園等維持管理費には、木曽川下流河川事務所が担当する公園施設における運営・維持管理に係る委託費用を含む

事業費の推移



※横山ダム支所化に伴い、H23年度～R2年度の事業費には横山ダム分事業費を含む
※木曽川水系ダム統合管理事務所の設置により、R3年度以降の事業費に堰堤維持費を含まない
※H30、R1、R2は臨特を含む

6. 流域治水対策

木曽川水系流域治水プロジェクト

近年、全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が発生するなど、人命や社会経済に甚大な被害が生じています。気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進しています。

木曽川水系では、令和3年4月に、「木曽川水系流域治水プロジェクト」、令和6年3月には、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、「木曽川水系流域治水プロジェクト2.0」に更新しました。現在は、当プロジェクトに基づき各実施主体において様々な取り組みが進められています。

※木曽川水系流域治水プロジェクト2.0の詳細は以下をご覧ください

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/ryuikichisui/index.html>

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 集水域

〔国・市、企業、住民〕
雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

流水の貯留 河川区域

〔国・県・市・利権者〕
治水ダムの建設・再生、
利権ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

〔国・県・市〕
土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の 維持・向上

〔国・県・市〕
河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

〔国・県〕
「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

②被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／
住まい方の工夫

〔県・市、企業、住民〕
土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす
〔国・県・市〕
二線堤の整備、
自然堤防の保全



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 氾濫域
〔国・県〕

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

〔国・県・市〕
長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

〔企業、住民〕
工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

〔企業、住民〕
不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

〔国・企業〕
官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

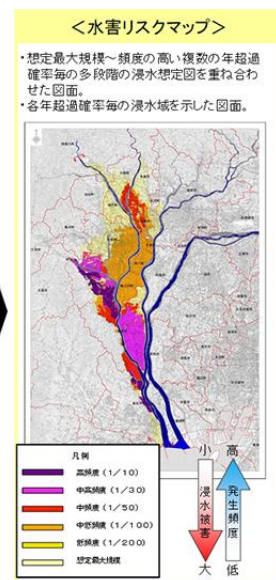
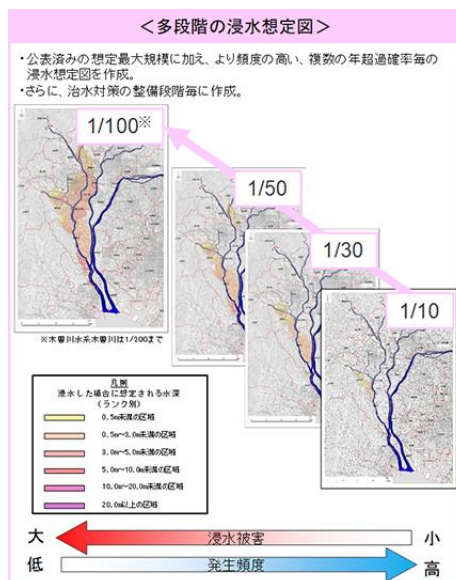
〔国・県・市等〕
排水門等の整備、排水強化

多段階の浸水想定図と水害リスクマップ

国土交通省で実施している取組の事例

『多段階の浸水想定図と水害リスクマップ』

- ・これまでに、土地利用や住まい方の工夫の検討および水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、本川や支川の氾濫状況を示した水害リスクマップを公表しています。
- ・今後は、公表済みの水害リスクマップに内水の氾濫状況をあわせた「**内外水統合版 水害リスクマップ**」を作成予定です。



木曽川水系における流域治水の取り組み(関係機関の取り組み)

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

◇「田んぼダム」による雨水貯留[関市等]

「田んぼダム」とは、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、水路や河川から溢れる水の量や範囲を抑制する取組です。

「田んぼダム」の排水イメージ



関市の取組状況

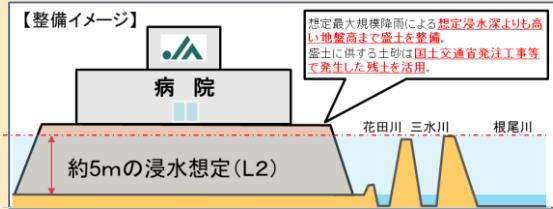


②被害対象を減少させるための対策

◇拠点病院の地盤嵩上げ[JA岐阜厚生連]

想定最大規模の想定浸水深を考慮した地盤高を造成することで、被害を減少させるとともに、浸水時でも病院の機能継続ができるように安全性を確保しています。また、地震など大規模な自然災害発生時の災害拠点病院となる「救護病院」として指定する協定書を大野町等と締結しました。

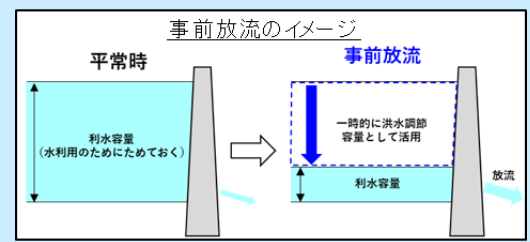
【整備イメージ】



①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

◇ダム事前放流[水資源機構等]

木曽川水系治水協定により、木曽川水系内の全ての既存ダム(45ダム)を活用して、事前放流を実施し、新たに最大約3億100万m³の洪水調節可能容量を確保しています。



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◇防水板施設設置の補助制度[一宮市等]

浸水被害の防止や軽減を図ることのできる防水板施設の設置にあたり、市民や民間事業者が活用できる補助制度を設けています。



【補助の内容】

工事費総額の2分の1

写真:

民間事業者による防水板の設置状況(一宮市、いちい信用金庫)

7. 防災情報の提供

大雨などの際に、雨や河川の水位状況をインターネットを通じてリアルタイム配信し、避難判断等に必要な情報をパソコンやスマートフォンから入手することができます。

川の防災情報

地域の方々が自ら氾濫の危険性を知り、的確な避難行動に役立つよう利用者目線に立った情報を提供しています。

▼パソコン

<https://www.river.go.jp/>

▼スマホ

スマートフォン用
二次元コード



トップページ



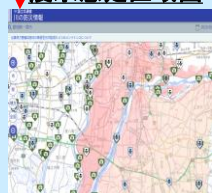
川の水位



川の映像



浸水想定区域図



木曽川上流河川事務所Webサイト

木曽川上流河川事務所のWebサイトでも木曽三川の各地点の川の映像や河川水位の情報をリアルタイムで見ることができます。

▼パソコン

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

トップページ



▼スマホ

スマートフォン用
二次元コード



カメラ選択画面



映像と水位画面



テレビ[データ放送]で見る

データ放送で、岐阜県が提供する防災情報等と併せて水位情報等を見ることができます

対象放送局

NHK岐阜放送・メーテレ・ぎふチャン
ケーブルテレビ(CCN)

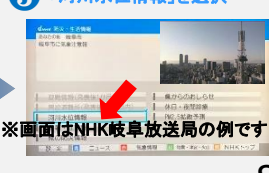
① テレビのリモコンの「d」ボタンを押す



② 「防災生活情報」を選択



③ 「河川水位情報」を選択



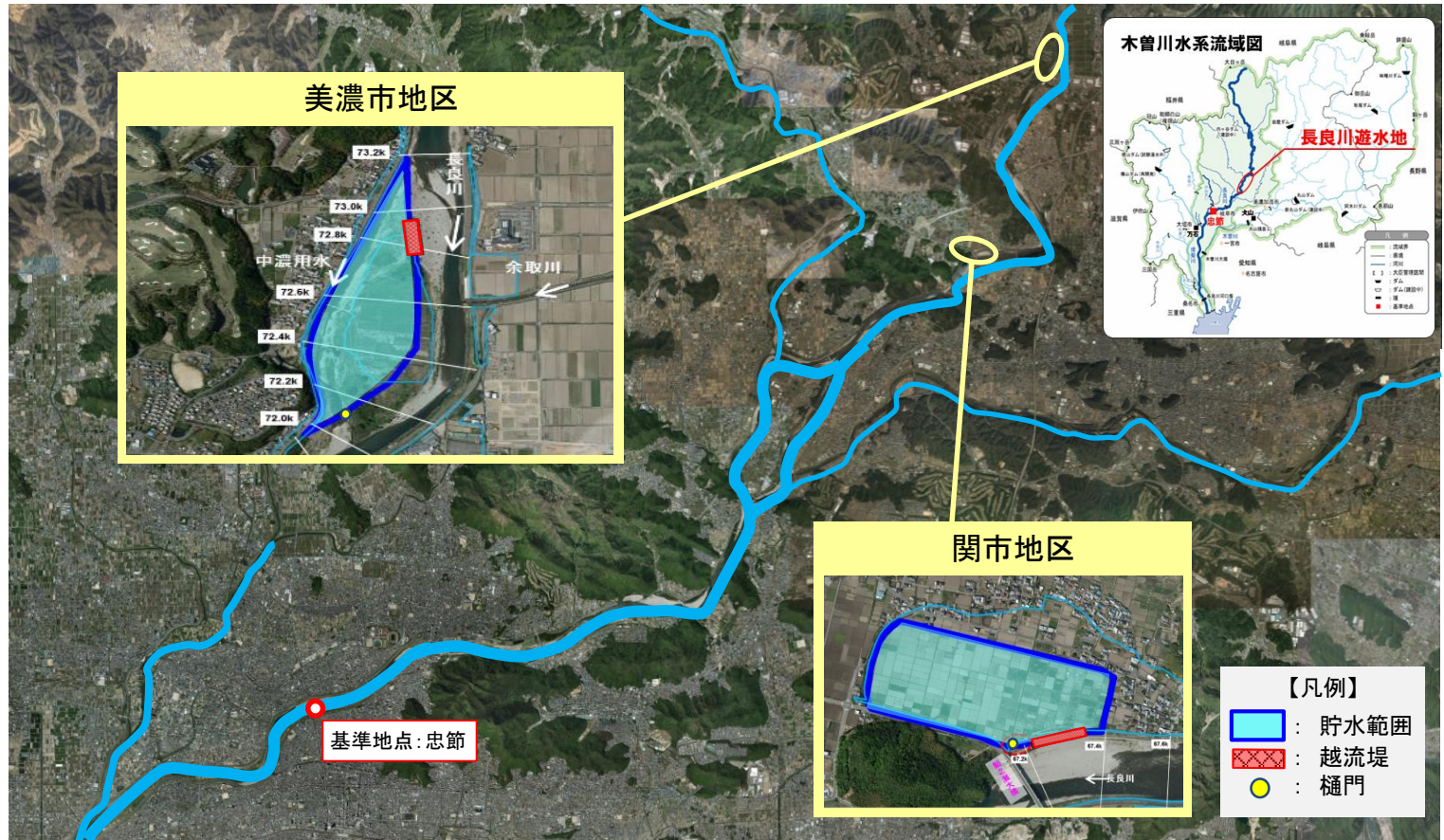
※画面はNHK岐阜放送局の例です

8. 河川改修事業

◆ 長良川遊水地事業

長良川では、戦後最大規模の洪水に対し、遊水機能を活かした洪水調節施設として、美濃市地区は、令和3年4月、関市地区は、令和6年1月に大臣管理区間に指定して、遊水地の整備を進めています。

※木曽川水系河川整備計画(平成20年3月策定、令和2年3月変更、遊水地による洪水調節量200m³/s)

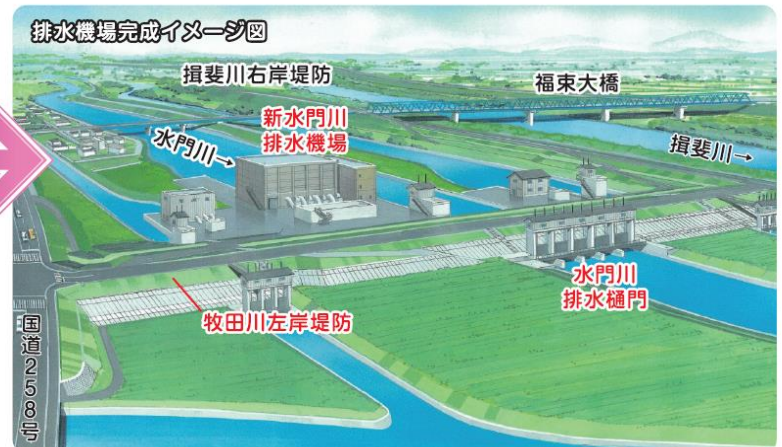


◆ 木曽川上流特定構造物改築事業（新水門川排水機場）

新水門川排水機場(国管理、昭和43年完成)、水門川排水機場(岐阜県管理、昭和25年完成)は設置から50年以上経過し、老朽化が著しくなっています。また、現況の牧田川左岸堤防の高さと厚みが十分ではありません。

このため、令和3年度より、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防の一体的な整備に取り組んでいます。令和7年度は、樋門改築、地盤改良、水路切替、機械設備などを実施します。

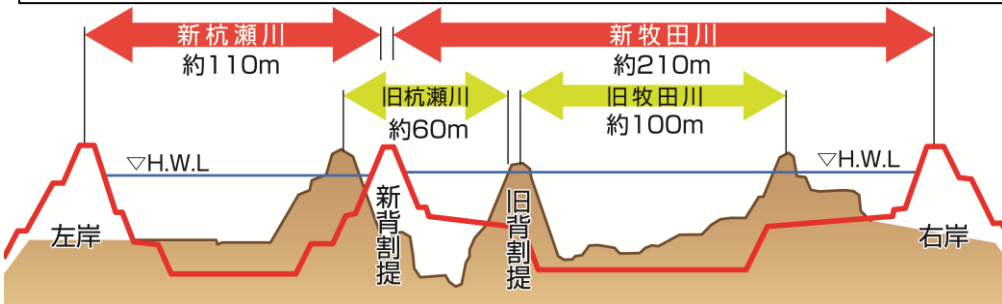
ぎふけん しんすいもんがわ まきたがわ
国・岐阜県が連携し、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防を一体的に整備します。



◆ 木曽川上流河川改修事業（一般改修）

平成14年7月台風6号を受け、牧田川・杭瀬川の洪水をより多く流せるよう、河川災害復旧等関連事業にて牧田川・杭瀬川の河道を広げるための築堤、河道掘削、護岸整備を実施し、平成19年度末に完成しました。

その後、牧田川下流の堤防を整備し、現在は河道掘削（旧背割堤撤去等）を実施しています。



◆ 河道の二極化対策

河道の二極化が顕在化しています

長年にわたる堤防整備や河道掘削などにより、洪水の流下能力を拡大してきた一方で、植生の繁茂等による河道の二極化が顕在化しています。

河道の二極化とは、砂州上に細かい土砂が堆積する一方で、みお筋（普段水が流れているところ）の深掘れが進み、砂州とみお筋の河床の高低差が過度に大きくなる現象です。

二極化対策の目的（目指すべき河川のすがた）

二極化の進行による悪影響を少しでも減らすため、以下を目的に、二極化の緩和に向けた取り組みを進めていきます。

【治水】

- 砂州上の細粒土砂の堆積、みお筋の過度の洗掘を抑制し、洪水時の流下能力及び構造物の安定性を確保します。

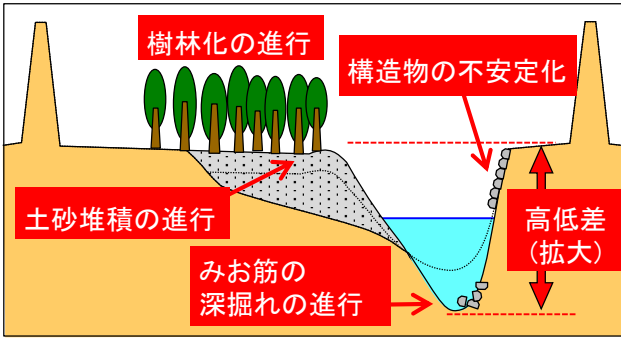
【環境】

- 河川が本来有している多様性に富んだ水辺環境を保全・再生します。

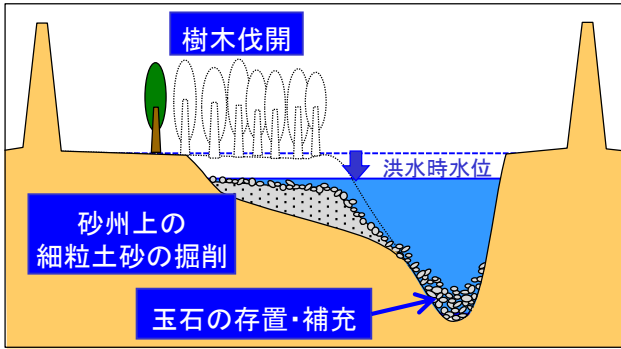
令和6年度の取り組み



▼二極化の進行イメージ



▼二極化対策の実施（試行）後



自然の営力を活用しつつ河川のあるべきすがたを目指します

9. 河川管理

河川敷や河川構造物の点検を行いその機能を維持し、洪水時には排水機場や樋門などの河川構造物を機能させて水害を未然に防止します。増大する河川管理施設を確実に維持するため、維持管理計画を策定し、PDCAサイクル型河川管理を導入するとともに、維持管理コストの縮減にも取り組んでいます。

河川管理施設の維持管理

- ◆ 河川巡視や施設点検により、堤防や排水機場などの河川管理施設の異常・危険箇所を日常的に把握し、不法投棄・不法占用など不法行為の防止や、維持修繕を行います。



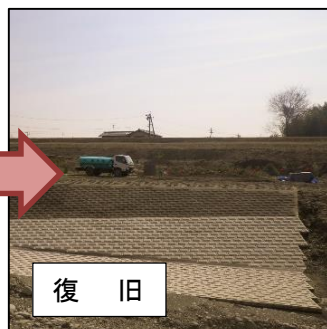
- ◆ 出水に備え堤防の異常を発見するため、年に2回程度堤防の除草を実施します。異常が発見された場合、速やかに補修工事を実施します。



- ◆ 洪水時の流水の妨げや過度な深掘れを引き起こす河道内樹木群の伐開を順次実施します。



- ◆ 被災した護岸の修繕や、異常箇所の修復など、堤防機能を守る維持工事を順次実施します。また、排水機場のポンプ設備等のオーバーホールや更新、樋門・樋管のゲートの修繕など、機械設備の機能維持のため修繕工事を実施します。



洪水時、水質事故発生時の対応

- ◆ 洪水時には、河川巡視を実施し、法崩れや漏水発生などの異常箇所を早期に把握するとともに、異常箇所の拡大防止のため応急対策を地域の水防団などと連携し実施します。



対策本部

情報共有



現地確認(水防団等)

- ◆ 排水機場や樋門・樋管ゲートの確実な操作により内水被害の防止・軽減を図ります。



陸閘操作状況(水防団)



排水機場操作状況

河川管理延長

河川管理延長	171.9 km
岐阜県内	150.2 km
愛知県内	21.7 km

木曽川上流河川事務所管内の 主な河川管理施設等

直轄排水機場等	22 機場 (ポンプ70台)
許可排水機場	66 機場
直轄樋門・樋管	116 箇所
許可樋門・樋管	122 箇所
直轄陸閘	129 箇所
許可陸閘	4 箇所

- ◆ 水質事故に備え、迅速且つ的確に対応できるよう訓練等を実施するとともに、いざという時は、流域自治体と連携して、被害を最小限に抑えます。



水質事故対策訓練



水質事故発生



流下防止
(河川に流出した油をオイルマットで回収)

ユスリカ対策

- ◆ キソガワフユユスリカ等は、冬季に木曽川中流部で発生し、伊吹おろしにより、東側(一宮市、稲沢市)に吹き寄せられ、被害が集中しているため、ユスリカの発生量を調査するとともに、被害を軽減するための検討・対策を継続して行っています。

ユスリカ発生状況



10. 環境整備事業

木曽三川では、良好な自然環境の保全を図りつつ、失われるなどした環境を取り戻す自然再生事業や、歴史的、自然的、文化的な河川環境を活かした整備を行い、水辺の利用を推進するための水辺整備事業を実施しています。

自然再生事業

- ◆ 木曽川において、国の天然記念物であるイタセンパラの生息環境を保全するため、ワンドの保全・創出対策を実施しています。令和7年度は、引き続きワンドの環境整備を推進するとともに、モニタリング調査を実施します。



イタセンパラ



環境学習の実施状況



対策前



対策後

水辺整備事業

- ◆ 長良川左右岸(岐阜市鏡岩地先外)において、治水計画に合わせ、にぎわいのある水辺空間を創出するため、ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画に基づき、忠節水辺整備事業を推進します。
- ◆ 令和7年度は、昨年度に引き続き、基盤整備を実施します。



忠節水辺整備事業
整備状況(令和7年2月時点)

- ◆ また、木曽川中流域において、既存の資源を最大限に活用し、流域の魅力向上に向けた取り組みを関係自治体と連携して実施します。



サイクリングロード
整備イメージ



サイクルラック、モニュメント等
整備イメージ

木曽川中流域自転車で繋ぐかわまちづくりマップ
(イメージ)

1 1. 防災教育・防災施設等

水害から命を守る為には、公助のみならず、地域住民一人一人が適切に避難できる自助・共助を養う必要があり、子どもから家庭、さらには地域へと防災知識等を浸透させる防災教育を推進していきます。

出前講座

自助・共助・公助などのテーマを設定し、学校の要望に応じた出前講座や授業の支援を行っています。また、排水機場の見学会、災害対策車両の操作体験など児童参加型の活動にも取り組んでいます。

出前講座実施状況



国の取り組み(公助)についての講座



マイ・タイムライン作成講座でのグループワークの様子

試行授業



事務所が開発した教材を使ったマイ・タイムライン作成

見学会・操作体験



照明車操作体験



排水機場見学会



出前講師のお申し込みは右の二次元コードから

防災教育ポータル

学校や教育委員会と連携した水防災教育の充実のための教材の開発を行っています。「防災教育ポータル」は、学校や地域での水防災教育の普及・充実のために役立てていただくためのホームページです。



災害・避難カード(小・中学生版)のダウンロード



浸水体験ARアプリ

浸水体験

マイ・タイムラインを作る

区分	新学習指導要領(平成29年3月公表)	項目
小学校1~2年	生活科	学校、家庭及び地域の生活に関する内容
小学校3年	社会科	身近な地域や地区町村の様子
小学校4年	社会科	自然災害から人々を守る活動
小学校5年	社会科	地域の伝統や文化、人々の働き
小学校6年	理科	自然・生命・地球
中学校	理科	自然・生命・地球

カリキュラム

その他のお役立ち教材

- ▼水害に関する学年別動画集
- ▼過去の水害写真
- ▼自助・共助・公助が学べる教材(発問計画等の指導案も掲載)
- ▼管内の全小・中学校の浸水イメージ資料

ポータルサイト
アクセス二次元コード



木曾上 防災教育 検索

防災関係施設 配置図

◆ 災害時に迅速な対応が行える拠点整備を行っています。



国営木曽三川公園の整備

- ◆ 桜堤サブセンター堤内地エリアは、開園に向け盛土造成を実施しつつ、開園後の維持管理を見据えた計画検討を行います。
- ◆ フラワーパーク江南では、更なる公園利用促進を図るため、園路整備を行います。
- ◆ 木曽川中流部では、沿川12市町と連携して、広域ネットワークの構築に向けたサイクリングロード整備を進めてきたところです。令和7年度は、ワイルドネイチャープラザの園内に、自転車も通行可能な園路を整備します。

国営木曽三川公園の維持管理

- ◆ 来園者が快適に、また安全に公園利用してもらえるよう、遊具の点検・補修、除草などの維持作業を実施します。

イベント時等の公園利用状況



桜堤サブセンター
ピクニック日和(マスカミ体験) 2024.11 撮影



稲沢サンドフェスタ2024 2024.10 撮影
ワイルドネイチャープラザ



かさだ広場・各務原アウトフィールド
熱気球搭乗体験 2024.11 撮影



稲作体験(田植え) 2024.5 撮影
河川環境楽園



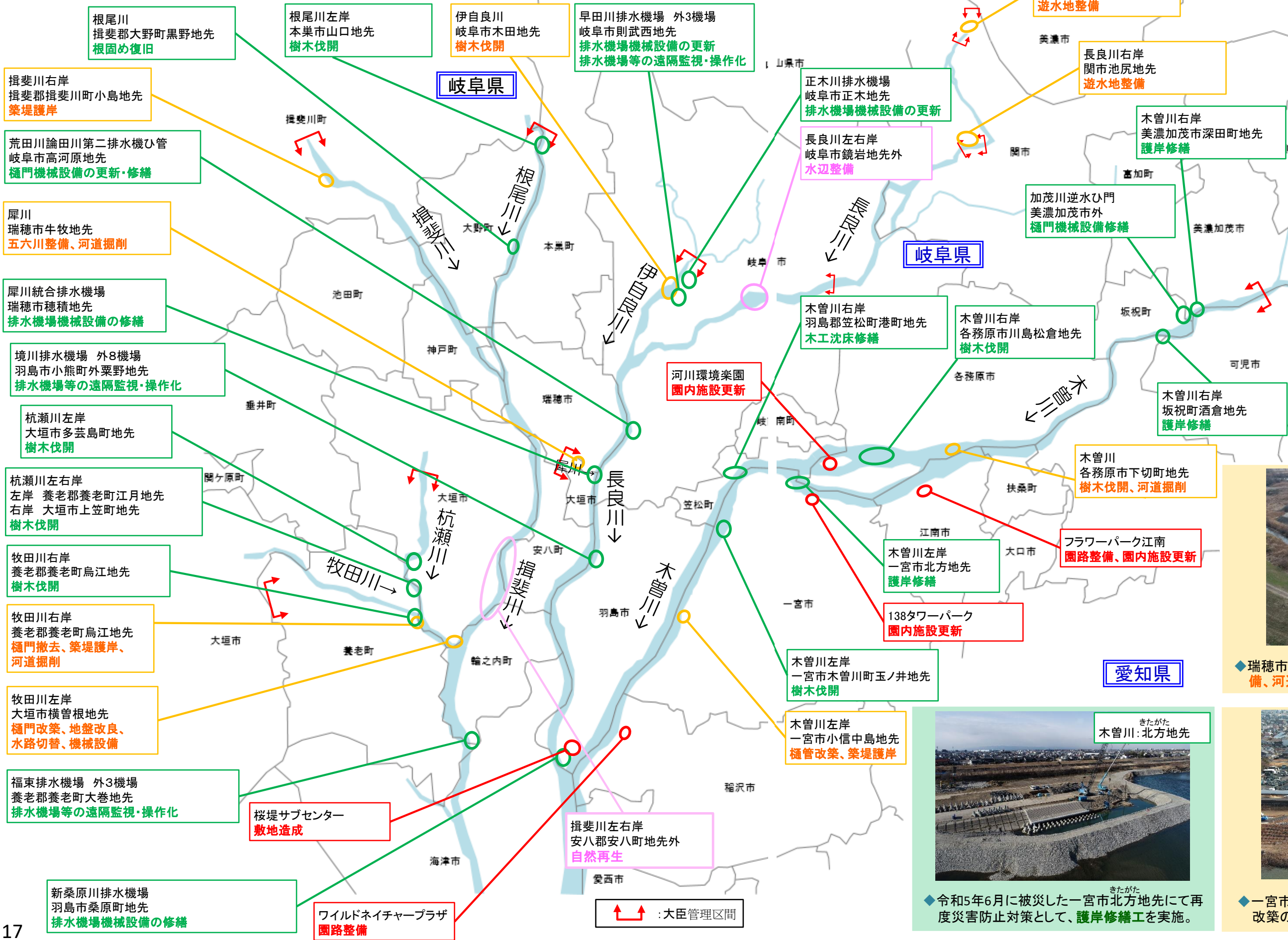
138フラワーパーク
オータムフェスタ 2024.11 撮影



ふるさとの森 BBQ広場 2024.5 撮影
フラワーパーク江南

13. 令和7年度の事業位置（改修・維持・環境・公園）

洪水による災害発生の防止及び軽減のため、各河川において対象とする戦後最大規模の洪水を安全に流下できるよう築堤や護岸、河道掘削、樹木伐開、樋門改築等の整備や施設の維持修繕を推進し、治水安全度の向上を図ると共に、自然再生や水辺整備を行います。



組織と業務

総務課

地域の方々と事務所をつなぐ総合窓口業務、職員の服務・福利厚生などの業務を行っています。

経理課

事務所が発注する工事などの契約、支払いに関する業務、物品、国有財産の管理などを行っています。

用地課

事業に必要な用地の確保、移転補償などの業務を行っています。

工務課

木曽三川の改修工事の設計、積算、発注に関する業務、工事の施工、監督に関する業務などを行っています。

品質確保課

工事の技術提案の審査・評価、工事検査に関する業務などを行っています。

流域治水課

流域治水の推進に向けた河川整備及び環境保全・利活用促進等に関する調査検討、水防・地震防災に関する総合防災業務などを行っています。

管理課

木曽三川の維持修繕工事、機械設備の設計、積算、発注に関する業務、河川を利用する際の技術審査などを行っています。

占用調整課

河川を利用・使用したり、土や砂利を採取する際の許認可の事務などを行っています。

河川公園課

木曽三川公園の整備・維持管理を行っています。

防災情報課

電気通信施設に関する業務を行っています。

木曽川第一出張所

木曽川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

木曽川第二出張所

木曽川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

長良川第一出張所

長良川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

長良川第二出張所

長良川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

揖斐川第一出張所

揖斐川、根尾川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

揖斐川第二出張所

揖斐川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

牧田川出張所

牧田川に関する維持・管理・工事監督を行っています。

国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所

事務所案内図



<バスでお越しの方>

■ JR岐阜利用時

・バス乗り場(8)(9)(10)(11)

■ 名鉄岐阜利用時

・バス乗り場(5)

■ 事務所最寄りの「西野町」に停車するバスは

1)清流ライナー、岐大ライナーを除くC系統(8)(9)

2)忠節を経由するK系統(10)

3)市内ループ線(右まわり)(11)



〒500-8801

岐阜県岐阜市忠節町5丁目1番地

TEL : 058-251-1321(代表)

FAX : 058-251-4301(代表)

URL : <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>